

委員会意見要望及び当局処理状況（3月定例会）

R 5 . 6 . 2

議案番号	件名	提案年月日	議決年月日	審査委員会	意見要望	担当課	処理状況
第25号 議案	令和5年度豊岡市一般会計予算	5. 2. 24	5. 3. 24	予算決算委員会	<p>「ジェンダーギャップ対策」について、本市では現在、ジェンダーギャップ対策を重点的に取り組まれている。一方、全国ではSDGsやLGBTQ、多文化共生を強く進めている自治体も多くある。4月からの新たな組織では、これらの施策の担当部署が分かれている状況が改善されるので、しっかり連携して取り組まれない。</p> <p>「新文化会館の整備」について、当初の計画を大きく上回る予算規模となっており、今後、一円でも軽減する努力が必要である。コロナ禍の影響などで大幅な資材高となっており、今後も想定以上の巨額の追加予算の可能性も考えられるので、現在示されている予算内に収めることを前提に実施されるように強く要望する。</p> <p>また、今後想定以上の予算額になる場合には、事前に議会と協議を行</p>	<p>ジェンダーギャップ対策室、地域づくり課、経営企画課</p> <p>新文化会館整備推進室</p>	<p>基本構想、市政経営方針を一層推進していくため、部を再編し、くらし創造部にジェンダーギャップ対策室、地域づくり課人権・多文化共生係を設置した。</p> <p>新たな組織のもと、連携を取りながら、基本構想に掲げる「多様性を受け入れ、支え合うリベラルな気風がまちに満ちている」を実現していく。</p> <p>「新文化会館の整備」にあたっては、建築資材価格等の動向に注視しながら事業費の抑制に努めるとともに、今後想定以上の予算額になる場合には、議会と協議しつつ事業を進める。</p>

				<p>うとともに、新文化会館整備事業は、市民の大きな負担を伴うことを十分理解して実施されたい。</p> <p>「竹野小中一貫校の整備」について、実施設計に小、中合わせて72,055千円の予算が組まれているが、一昨年建替え案が示された時点より、移転後の跡地がどうなるのかを不安視する声があった。施設一体型小中一貫校について何ら反対するものではないが、跡地については未だ議論もなされておらず、地域住民の理解も得られていない現状がみられる。今後の市政において、施設一体型小中一貫校推進の中、先例となる竹野のみならず、市内各地域においても廃校後の跡地利用については地域住民との対話を重ね、理解を求めるとともに、意見に向き合っていたきたい。</p>	資産活用課	<p>本年2月、竹野小中一貫校開設準備委員会がスタートした。</p> <p>その会議後、跡地利活用に関する地域との対話の進め方についても相談し、同時進行で対話を進めることを確認したところである。</p> <p>今後とも、学校跡地の利活用については、関係地域で統合の確認がなされ、どの学校を閉校とするかの方針が定まった時点で、地域と丁寧に対話をしながら、閉校までを目途に利活用のあり方を定められるよう努める。</p>
--	--	--	--	---	-------	---